



認定特定非営利活動法人

青少年の自立を支える会 通信

冬
令和4年

会報 第75号

2022年1月

目次

巻頭「子どもの居場所」に思うこと
報告 第12回子ども虐待をなくそう！県民のつどい
報告 子どもの居場所担い手育成事業専門研修会
事務局より ETV 特集撮影協力
寄付・会費納入者 編集後記



ETV 特集撮影風景

「子どもの居場所」に思うこと

月の家 相談員 直井 茂（本会理事）

私は2020年5月から「月の家（子どもの居場所）」の非常勤の相談員として子どもたちと関わり、今年度から当法人の理事の一員に加えていただきました。

「月の家」は、家庭の補完的機能を担い、子どもたちの育ちを支援する、地域にある放課後に利用できる自分の家のような、文字通り子どもたちにとっての居場所です。

私は、児童相談所に勤務していた時から、今日の社会状況（非正規就労やひとり親家庭、そして子どもの貧困などの社会問題と格差を生み出している社会）の中で困難な家庭環境、養育環境におかれている子どもと家族への継続的で個別的な支援の必要性を強く感じていました。しかしながら、児童虐待対応相談が大きな割合を占めるようになった現在の児童相談所では、職員は初期対応に追われアセスメントや支援に十分な時間を割くことが困難になってきています。また、現行の通告制度に基づく介入（不適切な養育の告知、気づきの促進）から始まる支援では相談者にスティグマを与えやすく、対応には高度なソーシャルワークを必要とします。その結果、対処療法的な支援にならざるを得ない場合も少なくありません。そうした中、月の家

での相談員としての役割を通して、子どもたちの行動や言葉の意味を共感的に理解し、アセスメントし、その関わりの中で子どもたちと家族を支援していくソーシャルワークや心理支援の必要性と重要性を再認識させられています。

栃木県内10カ所の「子どもの居場所」では、学校・自宅への送迎（車中で子どもたちの話を聞く）、学習・宿題（一緒に勉強する）、食事（手作りの食事をみんなで食べる）、一緒に遊ぶ・話を聴く、入浴（洗い方を教える）、洗濯（衣服の洗濯・上履き、靴洗い等を教える）、季節の行事、誕生会等の行事、進学について一緒に考える、保護者の話を聞く、等の家庭の日常生活で普通に行われている支援を行っています。しかし、その支援を提供する「自分の家のような場所」「相談できる大人」「遊び」「子どもたち同士、仲間」「生活」が、子どもたちが心を表現する場であり、その思いを受けとめる大人との関わり、相談できる大人の存在、遊びを通じた子ども同士の交流等によって、子どもたちは成長し社会性の獲得がもたらされていると考えています。子どもの居場所は課題も多いですが、広い意味での「カウンセリング」「遊戯療法」

的な機能を有していて、子どもたちの成長や家族・家庭の安定につながっていると思っています。

現在の子ども家庭福祉は、児童相談所、市町村を核に、相談者（子どもと保護者）が参画するソーシャルネットワーク（インフォーマルな支援も含め子どもと保護者、行政、援助機関等の連携・協働）を構築し、子どもと

家族を地域で支援するという対応を進めています。そうしたネットワーク、支援機関の一つとして「子どもの居場所」が果たす役割は大きく、相談員として職責の重さと力不足を痛感している昨今です。個人的には、第二の人生として「晴耕雨読・悠々自適」を目指しているのですが、それは子どもたちの笑顔の先にしかないのかもしれない……。

11月28日（日）、「第12回子ども虐待をなくそう！県民のつどい」
テーマ：虐待サバイバーが社会を変える～子ども虐待、最前線
今 一生氏 講演会、サバイバー座談会

「親に子どもが虐待されない仕組みを作る」

⇒しつけと称して子どもに暴力をふるったり、暴言を吐いたり、子どもの世話を放棄するなどの虐待が、親権の乱用にあたる。



11月28日（日）、栃木県総合文化センターサブホールにて、県民のつどいが開催され、約100名の参加がありました。

長年虐待被害者など社会的弱者の抱える問題に取り組んでいらっしゃる今一生（こん いっしょう）さんにお話しを伺いました。

内容（ほんの一部です）

① 父母による親権の独占をやめ、子どもが親権者を選択・排除できるようにして！

⇒父母だけに親権を認めている民法は、2人だけに子育ての全責任を押しつけ、子育ての孤立化、虐待を動機づけている。

⇒《養育者の責任》親権者が3人以上いれば、子どもの生活費・教育費などのお金や労力、

時間も3分の1に減る。子どもは他の親権者の家へ安心して避難でき、虐待の温床である「家の閉鎖性」も打ち破れる。

② ひとり親家庭の子には、別居親から感謝料と学費を市が徴収して！

⇒兵庫県明石市では、養育費を払わない別居親がいるひとり親家庭に対して、先に養育費を市が立て替え、同額を市が別居親に徴収する条例が施行済みだ。だが、養育費だけでは、子どもへの教育投資が足りない家庭も多い。
⇒自治体が先に子どもへ学費の不足分を支給し、同額を別居親から取り立ててほしい。

③ 家、学校、児相ではない「安心できる場所」を増やして！

⇒児相の一時保護施設やシェルターには定員があり、保護されない子どもが入れずに困っている。そこで、子どもの居場所指定権を持つ親権者でも行政の許可なしには入れない公的施設のスペースを、被虐待児の緊急避難場所として確保してほしい。

④ 子どもが虐待被害を自覚できる機会と、気

軽に相談できる機会を増やして！

⇒学校では、「子どもの権利」や「虐待とは何か」を学ぶ機会がない。だから、被害の自覚がない子どもが圧倒的多数。地元の虐待サバ

イバーを公募し、虐待被害を語り、虐待に関する基礎知識（虐待のタイプや法令、児相の連絡先等）を知るチャンスを設けてほしい。

★今さんと虐待サバイバーの座談会★

昨年度と同様、虐待サバイバーの若者に登壇していただきました。2人ともこの1年間で、父親になりました。子どもを育てているなかで、自身の虐待経験について感じたことも語られました。

Aくん（26歳）…1児の父。義理の父からの虐待で、7歳から15歳まで施設で育つ。

Bくん（25歳）…1児の父。実父からの虐待で、6歳から18歳まで施設で育つ。

今さん「生きているだけでもすごいなあと思う」

Aくん「4歳か5歳のころ、義父から殴られ、飯抜き。冬場に、夜、玄関の外に出され正座させられた。」

「子どもをもって、自分の子どもがかわいいから、そんなことできない。おれは違う。そんな虐待は絶対しない。」

① 施設で、これを教えてほしかった、というものは？

Aくん⇒子育ての仕方。子どもとの接し方。社会に出てから気を付けた方がいいこと。お金の工面の仕方

Bくん⇒一般家庭での子どもの育ち方。サッカー習っていて、その親の子どもとの接し方を見たりはしてたけど。

② 今、虐待をしていた親が、「介護してほしい」と言ってきたら？

Aくん⇒最低限関わるとしたら、自分を施設に入れたように、親も施設に入れる。

Bくん⇒他人扱いにする。そのためにも、結婚して名字を変えた。長男だから、というのが嫌で。

③ 法律を変えたい、というものは？

Aくん⇒親権問題は、変えた方がいい。

今さん⇒父と母2人だけで、子育ての全責任を負うとしたら、疲れちゃう。今の若者は、所得が増えない。45歳定年、という



話も出ている。これからの子育てが大変になる。

④ 虐待されていた当時のことは？

Bくん⇒家には居場所がなかった。ぶん殴られる。手足を縛られ、動けなくさせられる。施設に行ってもよかった。ほかの世界を知らないで、それがおかしいとも何とも思わなかった。

今さん⇒生きのびただけで、すごいなあと思う。施設で仲間がいたことは大きいのでは。仲間がいなかったら、辛かったと思う。

Aくん「泣くとやられるので、泣かなくなった。今も、感動しても涙が出ない。子どもが笑ったとしても。そうすると、人間味が出てこない。自分でそう思ってしまう。そのためにも、虐待をなくした方がいいと思う。」

Bくん「虐待をなくしたい。自分とか、経験をした人の声を届けたい。一般の人にもわかってほしい。少しでも理解してくれる人が増えれば、虐待が減るのではないか。」

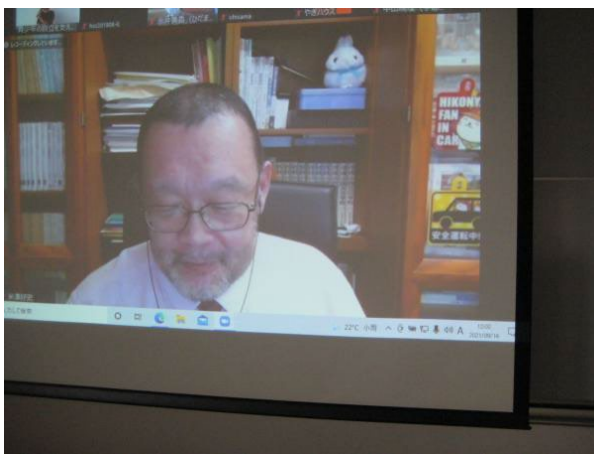
子どもの居場所担い手育成事業専門研修会が開催されました。

令和3年度第2回 9月16日(木) ZOOM研修

テーマ 「愛着障害児への対応」

講師 和歌山大学教育学部心理学教授 米澤 好史 氏

「愛着は人間関係の基盤になっているが、これがきちんとできていない人は、子どもであれ大人であれ、様々な人間関係のトラブルを起こしてしまう
⇒特定の人との愛着の絆、いつでも作れる、必ず治せます」



「特定の人との愛着の絆、どうやって築いていくのでしょうか。」

⇒3つの基地を作れば、必ずその絆は作れます。

①『安全基地』…恐怖、怒り、あるいは悲しいというネガティブな感情のとき、誰かが「大丈夫だよ」と守ってくれる働き。これを「安全基地」という。

②『安心基地』…この人と一緒にいるといい

気持ち、ポジティブな感情を直接満たしてくれる状態。これを「安心基地」という。

③『探索基地』…「基地(特定の人)」からいったん離れて戻ってくる。これができたら、愛着障害は治ったといえる。

これができていないと、分離不安で登園渋り、不登校になる。

「離れたら戻ってこれない」という相談もある。学校から帰ってこない、夜遅くまで外でたむろしている。ネット依存もそう。ネットの世界に行ったら、現実世界に戻ってこれない。探索基地ができると、自立につながる。

・愛着障害とは、感情の発達障害。感情が年齢相応に、知能相応に育たない。この子は6年生だけど、感情の発達は赤ちゃんで止まったかも、とってください。

愛着障害の子供とかかわるときの立ち位置

⇒隣がいい。真正面からいくのが一番ダメ。
後ろの方がまだいい。

支援のポイント

⇒「キーパーソン」の決定。誰が自分にとっ

ての安全安心探索基地か。それをその子に
まず提示すること。

⇒感情のラベリング。キーパーソンが、落ち
着ける状況を作り、子どもの気持ちを言い
あてる。

令和3年度第3回 11月8日(月)

テーマ 「居場所で伝える性のはなし」

講師 フリーエディター/心理カウンセラー 栃木 さおり 氏

- 性行動は、自傷行為ともいえる。「見捨てられ不安」「孤立への不安」「空虚感」
から
- 本人に気づいてほしいことは、自分の言葉、気持ちに力があること。これを、
子どもたちにわかってほしい。
- 科学的な説明、解説なら受け入れやすい。



発信していいんだ、ゆえに私はここにいて
いいんだ、という自己肯定感が育つ。

(性について) 素直には相談しないけど
⇒気持ちがぐちゃぐちゃ、これが気付いてほ
しいサイン。「どう思った?どんな気持ちだ
った?本当はどうしたかった?」と丁寧に
寄り添うことが必要。「これは犯罪なんだ
よ、性虐待なんだよ」と言ってしまうと口
をつぐんでしまう。

自分の体を大切にすること

⇒思春期。体の成長と心の成長がかみ合わ
ない。自分の存在、将来に対する劣等感や不
安、閉塞感。認知が発達して、自分と他者
の違いを知る。秘密を持つようになる。親
離れ。

『自分のNOには、力がある』

思春期における同意の大切さ

⇒日本人はイエスの文化。海外では、「やめ
て、さわらないで、見せたくないよ」とい
うのが必要、と教えられている。『自分のN
Oには力がある』ということがわかったら、

科学的な説明が必要

⇒大人が科学的根拠で説明すると、児童期
(6歳から10歳ぐらい)でも、「そうなん
だ」となる。世界の教科書では、避妊のこ
ととか性行為のこととか、物理の勉強とか
科学の勉強とかで伝えている。

⇒そうすると、こんな大変なことを大人は行
為をして自分を産んだんだ。じゃ、まだま
だだな、と思える。

⇒ただ興味本位で知りたい、AV情報ばかり
取りにいくと、やっぱりわくわくしてしま
う。子どもはどうしても刺激的なところに

いってしまう。

《事務局から》

☆ETV 特集に撮影協力しました。

ETV 特集は、毎週土曜日の夜、Eテレで放映されるドキュメンタリー番組ですが、さまざまな社会問題を取り上げる硬派な番組です。今回は「居場所」をテーマにドラマ仕立てのドキュメンタリーを制作するというので、宇都宮がその舞台となっています。星の家、月の家、はなの家は撮影場所として協力したほか、スタッフもドラマに登場する予定です。(編集を経てどうなるかはわかりませんが)

放送は2月19日(土) ETV 特集「ある子ども」午後11:00~午前0:00の予定です。
ぜひご覧ください。

寄

付・会費納入者

令和3年7月1日から令和3年12月
末まで 敬称略・順位不同

●正会費

済生会宇都宮乳児院ひまわり会 青木信子
阿久津マキ子 浅香 勉 浅香のり子
荒井敏子 石田千織 糸井 克 岩田友子
岩村由紀乃 岩本友子 植竹 清 内山成史
江連京子 遠藤 忠 大堀美知 小材嘉子
小野澤喜美 粕田晴之 片桐洋史 加藤雅子
川崎直美 倉田克己 越井みどり 近藤峰明
斎藤一明 斉藤幸子 齋藤修一 齋藤洋子
坂本真紀子 笹沼榮子 渋川典子 白上桂子
新福教一 鈴木友之 須藤公子 高橋文吉
高原恵子 竹内明子 田崎祥江 蓼沼初枝
中村明美 中村恵美子 中山裕美子
橋本正行 桧山康子 藤平一恵 細野重信
益子 亨 三尾谷文子 八巻正治 山口恵子
山田みやこ 渡辺やす 渡辺ヨシ子

●賛助会費

(株)ガス検 峰町キリスト教会光と風の家
福田こどもクリニック 芙蓉地質(株)
青木紀夫 秋澤育子 阿部美代子 新江 正
池 節子 井上紀代子 入江久美子
岩田三恵子 岩室紳也 植田利江 上野貞雄
大浦智子 大木時子 大島富子 太田黒武久
大田原恵子 大塚武昭 大野育代 小川 薫
加藤悦雄 上岡正行 菊池崇訓 喜内静美

喜内敏夫

君島健一 君島トキ子 倉田一成 狐塚良子
後藤 隆 小堀道和 小森峯子 西藤明子
斎藤孝子 齋藤信子 櫻井きよ子
佐島由美子 佐藤文代 佐藤正行 佐藤善光
芝野行雄 下山千恵子 東海林深喜
杉浦一正 須黒雪枝 鈴木正美 高野静子
高野孝男 高橋とも子 高橋真知子
高橋由紀子 高橋由美 田口寛子 谷 博之
田村 隆 長 正英 塚田哲夫 塚田伸子
槌江徳子 鶴田智子 鶴田 誠 手塚敬子
手塚由喜 東城 守 豊島優子 中島咲江
長島久登 中山信彦 那須恵子 西岡 隆
根本智子 野澤洋子 萩原寿夫 早川美奈子
日野奈々子 平澤照隆 平野利一
福田静江 福田仁美 藤田千秋 藤平浩史
古頭岳夫 前田利一 増茂尚志 松浦万里子
松嶋節子 村田美代 村山雅子 安 正幸
谷田部武男 山中節子 山本文枝
湯沢千恵子 吉川泰夫 吉澤卓男 古澤栄子
林谷和憲 林谷政子 和久井隆 渡辺秀子
渡部桂子

●寄付

(株)今泉ファーム (有)宇都宮能開 (株)ガス検
光陽エンジニアリング(株) 天台宗正光寺
東京電力労働組合栃木地区本部
栃木少年友の会 那珂川町更生保護女性会

(株)ニッカネ 峰町キリスト教会光と風の家
 医療法人ひだまりの森クリニック ミノリ理容所
 村井保育園職員一同 茂木更生保護女性会
 青柳イミ子 阿久津昇 浅香勉 浅香のり子
 阿部久美子 天野比呂史 荒井敏子
 飯塚利子 池 節子 池谷正宏 石塚和子
 石塚 毅 石原栄子 石原幹司郎 石原敏江
 磯 良雄 糸井 克 入倉明世 岩田三恵子
 岩村由紀乃 植田利江 上原雄貴 内山成史
 浦部延子 江田郁夫 江連京子 海老原清修
 遠藤 忠 大嶋洋子 大塚浩子 大野育代
 岡田真智子 岡部昇子 岡本貞子 小川 守
 小川秀子 小材嘉子 小野崎千鶴子
 小野澤喜美 岡本未和 柿沼真里 粕田晴之
 加藤悦雄 加藤カヨ 加藤雅子 河南俊郎
 金川実千代 鎌田篤子 上明戸晋史
 川崎直美 川田俊彦 菊池崇訓 菊地恵美子
 菊池光子 岸本都史夫 喜谷由紀 北村正子
 倉田克己 倉田信子 倉前満里子
 黒崎マツエ 小平光志 小平ふみ子
 児玉恵里 狐塚良子 小堀栄美子 小森静江
 近藤峰明 斎藤幸子 齋藤修一 斎藤孝子
 齋藤信子 斎藤文子 斎藤好江 坂本政子
 笹沼栄子 斎藤一明 佐藤貴美子
 佐藤久美子 佐藤マサノ 佐藤正行
 佐藤由紀子 椎野三千子 渋井洋子
 渋川典子 下里敬明 須黒雪枝 鈴木友之
 鈴木久子 鈴木光代 須藤公子 高木 勇
 高橋真知子 高橋由紀子 高橋由美
 高原恵子 瀧澤由紀子 武田ミサヲ
 竹原豊子 田澤敏之 蓼沼初枝 田村孝夫
 多門 孝 槌江徳子 鶴田 誠 手塚幸子
 豊田省子 中河貴美恵 長嶋須美子

永田ひろ子 中原清一 中村和子 中村光子
 中山信彦 西尾治子 萩原寿夫 橋本久仁子
 橋本恵子 橋本弘美 橋本正行 早川美奈子
 伴 純子 日原典子 桧山康子 平野 敬
 福岡 昭 福田静江 福田初美 福田正枝
 藤岡浩美 星 紀彦 星 秀彦 細内俊久
 本田理恵 本田広美 増山律子 松島輝幸
 松田 完 松永昌子 松本甚一 村山雅子
 室井千枝 安田健太郎 山口京子 山口恵子
 山口静江 山崎順子 山田倫代 横松 晃
 吉井孝子 吉井 宏 和久井隆 渡辺厚子
 渡辺秀子 渡辺ヨシ子 エコスマイル

なお、沢山の方から食品や日用品などの物品
 をいただいております。ご芳名は省略させて
 いただきますが感謝しお礼申し上げます。

ありがとうございました！

ご不明な点がございましたら事務局までお問
 い合わせください。会費の納入及び寄付につ
 いては預金口座の引き落としも可能ですので
 事務局にご相談ください。

【編集後記】

コロナとの闘いがとうとう丸々2年になり
 ます。家庭基盤が弱い子どもの暮らしを直撃
 しています。

自分の暮らしに埋没して人とのつながりが
 弱まる状況が急速に進んでいるなか、居場所
 を求めて彷徨う子ども・若者の姿が見えてき
 ました。(福

【会費納入及びご寄付の郵便振替先について】

加入者名：青少年の自立を支える会 口座番号：00140-3-366972

*通信欄に会員種別・寄付金及びその金額をご記入ください。また、ご入会の方は“入会”とご記入ください。

会員種別と金額は、

正会員：5,000円、賛助A：5,000円/一口、賛助B：1,000円/一口、賛助団体20,000円/一口です。

振込などの手間が要らない「会費等の金融機関引落し」のご利用をお勧めしております！

発行者/ 認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会

所在地/320-0037 栃木県宇都宮市清住 1-3-48

発行日/ 2022年1月

電話/ 028-666-6023 FAX/ 028-666-6024

発行責任者/ 星 俊彦

Eメール/ sasaeru@snow.ucatv.ne.jp

編集責任者/ 福田雅章

HP/ <http://www.jiritsu.org>

コロナが沈静化しているうちに・・・



月の家、アットホームきよはら
合同運動会

はなの家、食事会



星の家、おでかけ

